
麻生リトル・ラグーマン



神奈川県川崎市

麻生ラグビースクール

夏合宿担当

重住 英彰

今年は予想外に早い梅雨明けに恵まれたのでグラウンドの芝生は近年では最高のコンディションで、しかも涼しい天候のお陰で熱中症とは無縁の環境で練習に集中することができました。

さらに菅平ミニジャンボリーなどの対外試合のみならず、森の中でのバーベキューや花火大会に至るまで、事前に企画した全ての行事を予定どおりに消化することができました。

そして誰一人として診療所にお世話になることなく、全員が日焼けした笑顔で帰宅することができました。

このように子供たちがラグビーを中心とした楽しい思い出を作ることができたのは、各コーチがグラウンドでの指導のみならず宿舎においても様々な役割を担ってくださったこと、さらに夏合宿担当の5年生のお母さまがたによるきめ細かいご支援の賜物です。改めて感謝いたします。

グラウンドにおける合宿の成果については各学年のチーフコーチのレポートに委ね、ここではRS全体での取り組みについて報告いたします。

夏合宿の準備は4月の総会で夏合宿の開催が承認された直後から始まりました。そこで、この過程をとおして今年の特徴を列挙し披露いたします。

①千曲バスの利用

菅平への往復のバスの手配は引き続き小田急に依頼しています。ところが昨年の夜行高速バスの事故から運行管理規制が強化され、夕方に黒川を出発した小田急バスが菅平を往復し深夜に神奈川の車庫に戻る運行は危険な長距離深夜便に分類されるので、運転手二人体制が義務付けられ割高になってしまっています。そこで小田急が、長野から東京へ観光客を運んで空車で帰る予定であった千曲バスを探だし、その復路を活用して合法的な割安タ方便を実現いたしました。来年以降も狙ってみます。

②食事メニューの改善

これまで20年以上続けてきた麻生式朝食に「おにぎり」を導入しました。これまでも購入先の変更に伴いパンの種類を変えたことはありましたが、一日だけであっても米食に切り換えたのはお母さま方の画期的な挑戦でした。果たして子供たちの評価はいかに？

また担当のお母さま方が山光館の女将と直接交渉して昼食に子供向けの食材を加えてもらいました。

このように、従来からの慣例を改善することをタブー視せずに果敢に挑んだ成果です。

ここに至る背景は、何年にも渡る先輩お母さま方に受け継ぎ伝えられた歴史の積み上げの賜物です。

③山光館の体制変化

一方、山光館からは、恒例のバーベキューを館内ではなく、バスで5分程度離れた専門店でを行うことが要請されました。

ところが数年前にこの店を利用した際には食後に花火大会も開催できましたが、今年は花火の打ち上げは禁止でした。

そこで花火師を務めるコーチは子供たちが食事半ばの時点にご父兄の車で花火会場に向かい、暗い闇の中で仕掛けを用意していただき、子供たちの期待に応えることができました。

これら縁の下の努力に支えられ、グラウンドでは子供たちの歓声が途絶えることなく最終日を迎えることができました。そして最後の締めは学年毎のランパスです。今年は気温が高くないので数多くの挑戦が想定されました。

まず夏合宿に初参加の3年生が基準の8往復をクリアしても全く疲れを見せずに挑み続け、ついに4年生を越えてしまいました。その4年生は、一本一本をカー杯でこなしたので決して本数での勝負中はしていません。

毎年5年生が6年生を追い上げるので、受けて立つ6年生は面子に掛けても自ら引込むことは出来ません。そして遂に15往復を達成しました。

15往復→ $100\text{m} \times 15 \times 2 = 3,000\text{m}$
 $3,000 \div 400 = 7.5$ →トラック7.5周

最後には参加者全員による100人を越えたランパスで心を繋ぎファイナーレです。

そして夏合宿を閉めるに当たって、夏合宿で最も頑張った子供の努力を称え菅平賞を授与しました。以下が各学年の受賞者と選考理由です。

・3年生：佐藤 祐太郎

~練習でも試合でも直向きに自らの責任を果たし、最後のランパスでも常に大きな声を出して仲間を鼓舞した。

・4年生：海老原 銀次

~常に積極的なプレーでチームを引っ張り、ミニジャンボリーでは自ら好成績を導いた。

・5年生：野田 怜佑

~①自分のプレーに自信を持ち、②常に前へ出るプレーでチームを引っ張り、③決してテントで休まないという3条件をクリアした秀でた頑張り屋。

・6年生 古田 空

~常に自ら率先して身体を張って一所懸命にプレーに集中してチームを引っ張った。

これらの成果が秋の県大会に繋がることを祈念いたします。

そして、また今日から来年の夏合宿に向けて新たな改善を検討いたしますので、是非、お気付き点をご指摘願います。子供たちの笑顔を続けるために、...

追記：唯一の懸念事項

昨年は土曜日の明け方に子供たちが山光館の館内を走り回り他の宿泊客に迷惑を掛けてしまいました。その原因のひとつとして、直前に指名された班長では抑えが効かなかったという反省が挙げられました。そこで今年は事前に班員構成と班長、副班長を全員に周知徹底し、子供たちが自らの力でルールを順守することを指導しました。この結果、今年は各班とも班長を中心とした管理が徹底され、朝も各部屋の中で静かに過ごし山光館に迷惑を及ぼすような事例は発生しませんでした。

しかし最終日の朝、チェックアウトに伴い布団をあげ、部屋を掃除することが中々進みませんでした。4年生以上は経験者であるにも関わらず要領を得ないのは不思議でした。

日頃はベッドの生活であるため布団を上げることに不慣れなことは想像に難くないが、シーツや枕カバーを畳む経験も無く、全く手が動かない子供が多かった。

中には見るに見かねた班長が上級生だけで布団の整理整頓を指示し、下級生には掃除を委せた班もあれば、一方で自分で使った布団はあくまでも自分で片付けるべきだと主張する班長もおり、下級生がおろおろと見よう見真似で四苦八苦している姿もありました。

いずれにしても、万年床の下からは忘れ物が湧き出る勢いで発見されました。入浴後に着替えた下着が四方八方に散っているにも関わらず、室内の誰もが自分の持ち物だと認めません。どうやら鞆から出したものを詰め替えるのに不慣れで、挙げ句の果てに出しっ放しの衣服がいつの間にか万年床の底に紛れ込んでしまったらしい。

その惨状を見詰めながら、「俺達は客なのに、なぜ布団やシーツを自分で片付けなければいけないのか？」という質問が飛び出したのには驚きました。これらはラグビー以前の問題であり「開いた口が塞がらない」というのが正直な気持ちですが、この合宿で考える機会となれば幸いです。

しかし横から聞こえた「菅平までシーツの畳み方を習いに来た訳ではないわよね」というお母さまの声には辟易しました。

これらを含めて合宿の意義を今一度検討すべき時期なのではないでしょうか？

以上

DAGS



1年ボックス担当コーチ 教村

1年生のみんな合宿ご苦労様でした。

私は一日早く日曜日に山を下りましたが、大きな怪我も無く子供達にとって大きな自信に繋がった合宿だったと思います。

大きな収穫は「チームワーク」試合に勝つ喜び勝利への執着心が身に付いた様に感じます。

合宿でのボックス目標は、縦に出るライン攻撃

新しいサインプレー？(縦に入らせる為の)

インサイドセンターが、従来の1縦で入った所にフルバックをガットで入れ縦に縦の攻撃

今後目標

この時点で、ゲインラインは超えているので最少人数のフォワードで早くボールを出させ大外に回しトライを奪う ボックス、フォワード連携のサインプレーを完成させる。

この様なサインを考えられるレベルの子供達です。

勝利に向けみんなで頑張ろう！！！！楽しい合宿でした。ありがとうございました。

楽しい夏合宿！

コーチ 三沢 洋

菅平に着いた直後の練習は声も出て、集中した良い練習でした。

ただ2日目の朝は遠足気分を引き締められた外周13周からスタート！

いい緊張感が流れる中、青学戦は負け！

3日目に向けて、それぞれの役割を徹底しておさらい練習！

結果として3日目は待望の勝利を味わえた！ 楽しい1日だった！

キャプテンは全員を良く引っ張った！ おめでとう！

Aチーム・Cチーム共に、合宿で学び経験した事を県大会に活かそう！

ラグビーを楽しもう！

3年生の合宿

DAGS 3年 小山田 弦

今年は中学最後の合宿。毎年合宿は、きつくてつらいものと思っていた。

毎回、「東しば」というメニューで「やだなあ」いつもいやなメニューで、終わりには筋肉痛でたおれてしまい

そうなるほどだった。

だけど、今年だけは、3年生としての自覚を持っていた。

1日目 練習はそこまできつくなかった。なぜなら、全然疲れてなかったから。そう、たったそれだけ。そして次の日のジゴクをオレはまだ知らない。

2日目 13分ちこくして13周グラウンドの外周をはしった。とてもつらかったがのり切った。

3日目 体につかれが残っていて、もう走れないのでは？と思うほどだった。そんな中、はじめて試合で勝つことができた。

群馬県の強いチームに連勝できた。このままどんどん勝ちつづけたい。

4日目 雨が降っていたので、練習はないと思っていると、あるということがわかり急いでしたくをして走った。最後の日で走りたくなかったからである。

なぜなら、1分ちこくすると3周と聞いていたから。とにかく無理にでも足を動かした。

今年の練習を終えて昼食をとると、もう来年から来ないのかとしみじみ思う自分と、うれしいと思う自分がいた。

最後の夏合宿を終えて

DAGS 3年 梅津 誉

今年の夏合宿では、3試合のうち2試合に勝つことができ久しぶりの勝ちを味わえて良かったです。それはチームの一人ひとりが自分のすべきことをしっかり出来たからだと思います。ただ、今年は中学最後の合宿だったので悔いが残らないようにしていましたが、一つだけ悔いが残ってしまいました。それは、合宿での1試合目に足をつってしまい、全然試合で動けず、試合に負けてしまったことです。

中学での合宿は終わってしまいましたが、次は県大会があります。県大会では、バイスキャプテンとしてチームを盛り上げて悔いのない、中学でのラグビーにしていきたいです。

最後の合宿

DAGS 3年 室井 虹翔

今回の合宿は、DAGS での最後の合宿だった事と、最高学年だった為、色々な気持ちが入り混じり合宿に望みました。

それは、1,2年生を引っ張っていくには、自分も頑張らなければならないので、出来るかどうか不安があったり、走る事が苦手な僕はバテないで最後まで頑張れるか？色々な気持ちがありました。でも、実際に菅平に行ったら、不安はなくなり、一生懸命取り組むことが出来て、充実感を感じる合宿が出来たと思います。合宿では自分に足りないところが、少しずつですが見えて来た気がします。また、これまで試合は、全て負けてばかりで、1勝もあげることが出来なかったのが、やっとチームが一つになり2勝を上げる事が出来てとても嬉しかったです。

今、DAGS は、県下で最下位です。しかし、この気持ちを持続させ、今年の県大会では、優勝を目指すのはもちろんのこと最下位脱出を目標に向けて一戦一戦、頑張りたいと思います。

夏合宿を終えて

DAGS 3年 梅津 暁

僕はこの合宿で前よりもオーバーが低くスピードを付けて出来るようになりました。でも、まだヒットでは当たった後に足が止まったり、姿勢が高くなってしまうのでこれからの練習でしっかりと意識して直していきます。

反省する点では、練習開始時間に間に合わなかった時があったので、来年は3年生で皆をまとめていけるように、まず自分自身に対して厳しくがんばります。

夏合宿

DAGS 2年 白川 幹斗

今年の僕達DAGS は、春のシーズン1勝もできなかった。
DAGS みんなで強くなりたいと思って合宿に入りました。
合宿は、辛い事もありますが、高崎RSとシルクスに勝つ事が出来てうれしかったです。
これをきっかけに、秋の大会では優勝できるように頑張りたいと思います。

DAGS 初めての夏合宿

DAGS 2年 齋藤 裕太

DAGS1年目、3泊4日の夏合宿。足をケガしていたので4日間できるか心配だった。
練習は初日からあったが、足の調子が悪くて少ししかできなかった。
2日目、足の調子もよく参加できたがすっきりしなかった。参加できたと言っても途中、途中抜けたからだろうと思う。悔しいと言う気持ちがあった。
3日目、練習に途中から参加して試合に出た。コーチに「練習に出ていないのに試合に出るのか？」と言われた。そのとおりでと思い、迷いながらも試合に出た。午後ちょっとしたきっかけでコーチと話した。午前のことについて「お前ならできる。やりきれる。」と言われた。それも3日目の午後はやりきれた感じがあった。
4日目、また足の調子が悪く、悔いの残る最後となった。
今もまだ足は治らない。来年の合宿は何も気にせずに思い切りやれるようにできる練習はしっかりやり、ケガもしっかり治したいと思った。

夏合宿

DAGS 2年 伊藤 大吉

合宿に行く前どんな練習をするんだろうと言う緊張感と楽しみな気持ちがありました。
練習はとても大変でした。部屋では先輩達との仲が深まったので良かったです。
試合では田園のフォワードに負けたので秋の大会では絶対に勝ちたいです。

夏合宿

DAGS 2年 大坪 勇太

DAGS に入り、初めての合宿で想像以上にキツくて辛かった。でも、試合の回数を重ねる毎に自分の力を出す事が出来て楽しくなってきた。最後、田園には負けてしまったので、次こそは勝ちたい。

中学の夏合宿

DAGS 2年 宮澤 朋輝

中学生になって初めての夏合宿がありました。行きのバスで花園の高校ラグビーを見ました。高校生になると全然僕たちとは違うなと思いました。そして、その日の練習は最初からものすごく走るの途中で、吐き気がして最初と最後しかできませんでした。

二日目は準備などで13分おくれでしまいグラウンドを13周をやらされました。ものすごくきつかったのでこれからはしっかり時間を守ってはやめに行動しようと思いました。午後雷がなっていて練習ができなかったの、室内で筋トレとDVDを見ました。筋トレがすごくきつくて痛かったです。雨がやんだ後の練習は、少しさむくてきつかったです。

三日目は試合がありました。シルクスと高崎が相手でした。僕は高崎戦にでました目標の声を出すというのは出来たと思います。

最終日はとてもさむい日でした。その日、雨で無くなった田園戦がありました。前後半やってすべて出きれませんでした。もう1試合したけど勝てず、もっとがんばらなと感じました。来年からは毎日休まずできるようにがんばりたいです。

6年生



夏合宿の成果を生かそう

6年チーフコーチ 曾我 浩

菅平合宿最終日、ランパス、最後の一往復。

6年生が走り、大人、子供全員がそれを見守っていた。

向こう側のゴールポスト下には、いつの間にか輪になった6年生がいた。

キャプテンが何を話したのか、誰が何を話していたのかわからないけど、それまで遅れ気味だった仲間を中心に「ひとつになって」、走りきった6年生がいた。

全員の表情からは、君たちを大きく成長してくれた菅平合宿が終わってしまうことが残念そうだったね。

ジャンボリーの試合では、2勝した試合結果よりも、全員が戦う気持ちになって、大きな相手を止めて、大きな声で仲間に声をかけていた。

でも、5年生との試合。

何か足りないまま、受身の試合をしてしまい、合宿の成果を何も出せずに終わってしまった。どうしてだろう。

一番よくわかっているのは、6年生の君たちだと思うけど、たぶん、「誰か」や、「何か」のせいではなく、まだ自分たちのやっていることに「自信が持てない」のだろうと、曾我コーチは思います。

君たちは、6年生の菅平合宿で、大きく成長したんだよ。

今まで、コーチ達がみんなに教えてきたことが生かされれば、どんなチームに対しても負けることはないと確信しています。

そして、これからは他人(他のチーム)と比べて足りないものに、くよくよするのではなく、今まで自分たちがやってきたことに自信を持って、明るく前向きに練習に取り組もう。

県大会が終わった時に、菅平合宿の最後のランパスの時の「ひとつになった6年生」を、もう一度味わってほしいから、そのためにできる全てのことに、曾我コーチもがんばります。

6年生を見守ってくれている皆さん。応援よろしくお願ひします。

6年生菅平合宿 技術指導面から試合内容を中心に総括

6年コーチ:外岡 幸隆

天気も程よい曇りに恵まれ、最高のコンディション下の夏合宿でした。課題であった「声出し」、上半身を密着させるディフェンス、接点でのファイト、キックオフのキャッチ、前に出るラインディフェンス等、年明けからの課題克服メニューの仕上げと、実戦、そして精神面での成長を狙った合宿でした。

土曜は、1日練習した後、夕方、大和RSを向かえ、実戦で試す機会を得ました。結果としては3-2で接戦を制することができましたが、ディフェンス面では、相手の連続サイド攻撃が止められないという課題を残しました。試合後反省として、子供たち1対1による激しいガチンコ・タックル(上体寄せ)を行い、気持ちも高めて翌日のジャンボリー2戦に備えることになりました。

日曜は、サニアパークでのジャンボリー2戦。館林RSとの試合。先制トライを奪ったものの相手快速WTBに走られ、前半を1-2で折り返し。後半に入っても味方陣に釘付け。またしても快速WTBに飛ばしパスが通り、1-3となり厳しい展開を思われましたが、追いつき、逆転しようとするチーム全体の気持ちが高まり、激しいタックルとブラインド・サイドなど相手陣の人のいないスペースを突く攻撃が功を奏し逆転勝ち(4-3)を収めることができました。外岡が見る限り、このチームの歴史の中でも一番いい試合でした。

ブレイブルーパス府中RS戦は、相手は5年生中心だったせいか、予想を覆して、一方的な展開で10-1と圧勝。激しいタックルも随所に見られ、集中力も最後まで切れず、昨日のガチンコ・タックルの成果を確信できた試合内容でした。

月曜、最後の仕上げに5年生との交流戦。2日間の成果を十分発揮し、圧倒的な勝利を期待していましたが、低学年ということで受け身な気持ちもあったせいか？ 激しさはすっかり影を潜め、先制トライを許すなど、圧倒とは程遠い試合となってしまいました(8-2)。試合後、キャプテンによる全員の奮起を促す「げき」がとび、親コーチ戦、恒例のランパスでは、全員の気持ちを出し切った形で合宿を終了できました。

菅平賞には、声出しと激しいタックルを開眼させた「くう」が選ばれました。

全体としては、個人都合、体調不良により、メンバーがそろわず苦労した合宿でしたが、大きなケガもなく、昨年来の課題はかなり克服できたと思います。県大会まで、残りわずか。後は、「気持ち」です。残念ながら集中力、精神力の源なる「声出し」については、一部の子供のみが声を出すだけで、半数以上の子供たちは、自ら声を出すことはできていません。土曜夕方のガチンコ・タックル、最終日の5年戦の苦戦後のキャプテンの「げき」を忘れず、全員が気持ちを切らさず最後まで戦い抜くことを心に刻んで、次回以降の練習、県大会に望んでほしいと思います。

6年生菅平合宿を終えて

6年コーチ 室井

今年もまた、ここ菅平に、7/13~15日に掛けてラグビーの合宿に来ました。一日遅れての合流です。天候も時折崩れかかることもありましたが、全般的には恵まれた天気で、例年よりもひととき涼しい気候でもあったので、テント組や熱中症の子供の姿をあまり目にしませんでした。私たちコーチにしたって、天候一つで大きく疲労の度合いも左右されます。ジャンボリーでの試合では、皆の変貌した姿を随所で見せてくれました。すぐに夏が終わり、秋ともなれば県大会が始まります。既に抽選会も終わり対戦相手も分かっています。君たちの真の実力を試すには、申し分のない対戦ばかり。合宿の時の気持ちを維持しながら試合に臨めば、必ずや結果がついて来ます。皆で仲間と築いて来た絆を大切にしながら、麻生の最上級生に相応しい、悔いのないゲームを楽しんでもらうことを期待します。皆で気持ちをひとつに頑張ろう。

2013 年菅平合宿を終えて

6年コーチ 宮内伸也

6年生の菅平合宿、怪我人も出ず無事に終了することが出来た事、ほっとしています。

(一か月前に膝を故障していたので私自身が一番心配でした。。。)練習で流した汗、涙は確実に6年生諸君の体と心にしみ込んだ事でしょう。そのしみ込んだ汗と涙は、貴重な財産となって今後も折に触れ君達を励ましてくれることでしょう。大事にしてください。

秋の県大会で全力を発揮する事が、今後当面の目標になります。

菅平合宿での気持ちを忘れずに頑張りましょう。菅平合宿菅平合宿

6年生夏合宿初日の練習メニュー

6年コーチ 菅原

今年の菅平は、天候に恵まれ(日照りなく、テント組なし)、全ての練習メニューをこなすことができました。

参考までに、初日の練習メニューを掲載いたします。6年生の頑張りを振り返ってください。

なお、6年生の練習工程は、いよいよ最後の第④工程に突入します。やるべきことはやり、教わるべきことは教わりました。あとは、ひとりひとりが、試合に強い気持ちで臨めるかです。引き続き、父母のみなさまのご支援/ご声援をお願いします。

- ① 県大会でできなかったことの洗い出し(昨年11月~12月)
- ② 「できないこと」を「できそう」にする(本年1月~3月)
- ③ 「できそう」なことを「できる」ようにする(4月~7月夏合宿)
- ④ 「できる」ことを、試合で確実に「できる」ようにする(8月~9月)

6年生は、練習においては、どこのチームよりも上手いと思われれます。全員が、練習で行ったことを試合で出せれば無敵です。

6年生 夏合宿(午前)メニュー

| | | | |
|----|--------|--|--|
| 1 | ～07:15 | 全体ウォームアップ | 人数: 全学年全員 目的: 心と体のウォームアップ、心拍数を徐々に上げる 注意点: 決められた体勢、決められた距離を守らせる |
| 2 | ～07:30 | ハリーパス | 人数: 三人一組 目的: パス展開スピードの向上、走らせる味方の位置のイメージ共有 注意点: ①ボールを持って走る距離とパスの関係、②ポジション(深さ)とスピードの関係 その他: スピード: ジョグ→トップ、技: ストレート→ハンドオフ |
| 3 | ～07:45 | クロス(ドリル → スタンド/センター → センター/ウイング) | 人数: 二人一組 → 三人一組 目的: クロスの目的理解とタイミング 注意点: ①ボールキャリアーと相手との関係、②レシーバーのポジションとタイミング その他: 相手を引きつける |
| 4 | ～08:00 | ヘッドダッシュ(3人一組のゴロパン) | 人数: 生徒三人一組、コーン3個とゴールライン 目的: アタックに大事なタイミング(when)を掴む 注意点: 「特に①コーリング」、②トップスピード その他: 生徒三人を(逆三角形で) → 三角形で ディフェンスコーチ(1人) → 2人 |
| A | ～08:30 | 朝食 *30分間 | |
| 5 | ～08:45 | (1)タックルされた状態からのパス(オフロード) または (2)倒された状態からのワンモーション | (1)人数: 二人一組 → 感覚をつかめば縦一列で 目的: タックルされながら繋ぐ(プレイ)意識の習得 注意点: ①キャリアーの繋ぐ意識、②フォロワーの「声」 (2)人数: 二人一組 → 感覚をつかめば縦一列で 目的: タックルで倒された後の繋ぐ意識(プレイ)の習得 注意点: ①キャリアーの繋ぐ意識、②フォロワーの「声」 |
| 6 | ～09:00 | バック(ハンマー)/リップ/ガット/オーバー | 人数: 生徒3人一組、コーンはスタートラインとゴールライン 目的: フォロワー(サポート)のウェッジパターン(4つ)の状況判断力を養う 注意点: 間違えても気しない、思い切りの良い「声」を重視 その他: 一次攻撃でしっかり球を確保、状況判断とフォロワーの声 |
| 7 | ～09:15 | ノミネート | 人数: 4人一組 目的: チームディフェンスの基本習得 注意点: ①指さし確認/コーリング、②ポスト(ピラー)確認、③横一線でアップ その他: 前に一線が出る、横を向かない、対面に責任を持つ |
| 8 | ～09:30 | 上体寄せタックル | 人数: ポイント一つ、コーチ一列でボールキャリアー、生徒一列で寄せ 目的: 高くても上体をしっかり密着させる感覚の習得 注意点: ①踏み込み、②しっかりバック(相手の背中)、③足を送り続ける |
| B | ～09:35 | 日陰休憩 *5分間 | |
| 9 | ～09:45 | 起き上りタックル | 人数: ポイント4つ、タックルダミー4つを(コーチで)→生徒で 目的: うつ伏せから起き上りのタックル(足かき習得) 注意点: ①低い構え、②ボールへの注意と声は一番内側に任せる、③低いままの飛び出し |
| 10 | ～10:00 | ラインメイク(アタック⇄ディフェンス) *上田コーチご提案メニュー | 人数: 4人一組、コーチはハンドダミー保持 目的: 球回しから笛一回でポイントを作りアタックラインを作成、笛二回でディフェンスライン 注意点: ①素早いラインメイク、②「マイボー」「ヤンボー」のコミュニケーション |

| 6年生 夏合宿(午後)メニュー | |
|-----------------|--|
| 1 | ～15:00 コンビA(キックオフリターン) |
| | 人数: 全員 目的: リターンの陣形の習得とフォロワーの確認 注意点: ①ポジション確認、②リターンは積極的に、③必ずボールを繋ぐ |
| 2 | ～15:15 コンビB(キックオフチェース) |
| | 人数: 全員 目的: チェースの陣形の習得 注意点: ①ポジション確認、②一線である、③必ず相手を潰す |
| 3 | ～15:30 コンビC(スクラム) |
| | 人数: 全員 目的: サインプレイ、フォロワー、二次攻撃、三次攻撃の確認 注意点: ①サインの確認、②役割の確認、③途中で止めない |
| 4 | ～15:45 コンビD(ペナルティ) |
| | 人数: 全員 目的: 相手陣、中間、自陣の攻撃パターンの確認 注意点: ①決定者(キャプテン?)の確認、②ハリー/キックもあり |
| A | ～15:50 日陰休憩 *5分間 |
| 5 | ～16:05 コンビE(ディフェンス-スクラム) |
| | 人数: 全員 目的: ポイントセンター、ピンチ(自陣)等のディフェンス確認 注意点: ①ハーフ、②フルバック、③オープンFWD、④ブラインドWTBの役割 |
| 6 | ～16:15 コンビF(ディフェンス-ラインアウト) *10分 |
| | 人数: 全員 目的: ラインアウトからのディフェンスの動きの確認 注意点: ①FWD、②ハーフの役割 |
| 7 | ～16:25 コンビG(ディフェンス-ペナルティ) *10分 |
| | 人数: 全員 目的: 相手ペナルティのディフェンスの確認 注意点: ①各人の基本姿勢、②一線の前に |
| B | ～16:30 日陰休憩 *5分間 |
| 8 | ～16:45 タックル |
| | 人数: 全員(生徒vs生徒) 目的: 気持ち 注意点: 気持ち以外なし |
| 9 | ～17:00 ガチンコ(狭いスペースでの攻防) |
| | 人数: 4人×3組 目的: 気持ち 注意点: ①絶対「トライを取る」意識、②絶対「相手を止める」意識 |
| 10 | ～18:10 校長メニュー *土曜日は最長1時間程度、日曜日は最長2時間程度? |
| | 人数: 全員 目的: 気持ち 注意点: 土曜は夕食の18:20に間に合わせる、タイムキーパーはウォーターブレイクに注意 (日曜日は、BBQのため若干の時間の事由あり) |

夏合宿を終えて

6年 小野 航大

サニアパークでの第一試合、館林との試合は、こういう試合が僕たちにも出来るんだと思った。最後まで心が折れなかったから試合に勝つことができ、今までで一番いい試合が出来た。どんな試合でも最後まであきらめず、県大会では2勝を目標にがんばるぞ！

夏合宿に参加して

6年 小島 稜

ぼくは合宿に参加してみて、いろいろなことを学びました。たとえば、セービングなどのくわしいやりかたがわかっということが役に立ったと思います。

そして、日曜日の試合ではセービングやタックルなどができていて良かったです。でも、月曜日の5年生との試合では日曜日の対外試合のように練習でやったことが活かされていなくて、気持ちも負けていたと思ったし、雑なプレーが多いと思ったので、どんな相手と戦っても、しっかりボールを持ち、気持ちで相手に勝って、試合も勝っていきたいと思います。

夏合宿の思い出

6年 齋藤 裕人

俺はくやしかった。合宿最終日。5年との試合で点数では勝ったが、コーチに言われていた5年を圧倒する試合ができなかったからだ。

去年の6年には圧倒されたのに、俺たちにはできなかった。俺の声出しが足りなかったのか？それなら声が枯れるまで出そうと思った。

悪いことばかりではなかった。夏合宿2日目の試合は最高だった。本気でぶつかって声も出ていた。それと5年との試合が終わってからのランパスでは全員が声を出していた。

俺はこの時、6年間ラグビーをやっていて一番声を出していたと思う。

これから県大会がある。受験勉強がある者もいるから無理しないでがんばってほしい。

そして俺はみんながたよれるキャプテンになれるようがんばっていきたい。

夏合宿を終えて

6年生 津国 大喬

僕の合宿の目標は、「低いタックルで確実に相手を倒すことが出来るようになる。」ということでした。

僕は3日目の試合の日からの参加予定だったので、朝の練習に間に合うようにと母が車をブツ飛ばして、菅平に向かいましたが、結局サニアパークに行く直前に着きました。

練習がほとんど出来ていないので、不安が大きかったのですが、試合直前に行った1対1のバトルでタックル練習をしたお蔭もあり、試合に向けて自信が持てました。

サニアパークでの対外試合では、タックルは低く入ることができ、勝つことも出来た。。。のに・・・4日目の5年生との試合では、それが出来ず、しかも、トライを3本も取られてしまい、残念でした。

気が緩んでしまったのが原因だと思います。どんな時でも、気の緩みは失敗につながります。相手が誰でもあれ、しっかりとプレーに打ち込み、タックルをして、どんな相手でも倒したいです。

合宿の目標、でき事

6年 森田 恵一朗

今年の合宿の目標は「声を出して、一番最初に行動する」だった。声はふだんの練習のときよりは出せたと思う。仲間に指示を出したり、できたことはたくさんあった。このまま県大会までもっていきたい。一番最初に行動するという事は数回はできたがほとんどできなかった。一番最後に行動してしまったこともあった。仲間を引っ張っていく立場なのに痛々しい失敗だ。次からはないようにしたい。

今回の合宿では体調がわるくなってしまったため、全ての練習や試合に出ることができなかった。だが、出場できた試合では良いプレーが出来たと思う。練習も充実していて楽しかった。

色々あったが少しは成長できたと思う。だから、これからがんばってもっともっと成長したいと思う。

「小学生最後の菅平」

6年 古田 空

僕の菅平での目標は、声を出し6年生の雰囲気良くする事でした。その目標はみんな達成できて普段の練習より一層やる気が出ていると思います。

サニアパークでの試合は、最初から全員気合が入っていてとてもいい試合ができたと思います。

何よりも印象に残っているのはランパスです。なぜなら、みんなよりもおそい僕に「空頑張れ」とか、「空にもまわせ」などの声をかけてくれたコーチとみんなに感謝したいです。

感謝したいことがもう1つあって、それは、僕が熱中症になった時に看病してくださったり、夏合宿を色々な面で支えてくださったり、5年生のお母様方に感謝したいです。

最後に今年の県大会では強豪チームと試合するため、1回1回気合を入れて、悔いの残らないような試合をしたいです。

合宿をおえて

6年 齊藤 岳

6年生最後の合宿で、練習はすごくきつかったです。1日目の練習試合と2日目の試合はどちらも勝ててよかったです。しかし自分は試合の相手をつかまえることができませんでした。試合後に校長に言われて「練習で頑張り今度の試合で頑張ればいい」と言われました。なので練習をしっかりと、今後の試合で相手を止められるようにしたいです。あと、フォワードとバックスをどちらもできてバックスだけじゃなくフォワードも普通にできるようになりたいです。

6年 山崎 太凱

ぼくは最後の合宿で今までできなかった3つのことができました。

ひとつめは「声」です。ぼくはコーチに言われてやっと声を出したり、試合が終わるまで声を出せなかったこともありました。だけど今年最後の合宿のサニアパークでの試合ではたくさん声を出すことができました。

ふたつめは「トライ」です。最近、何回かできることはあったけど、なっとくのいくトライができていませんでした。だけど合宿での試合ではできました。これはひとつめの「声」がなかったらできなかったことです。やっぱりスポーツは声をださなきゃダメだなと改めて思いました。

最後は広くラインを作ることです。

ぼくはウイングです。だけどいつも広がっていないで、ライン全体を広げることができていませんでした。合宿では、練習をするうちにコーチに言われなくても自然と広がることができたことがあったのでよかったです。

その3つが重なって、サニアパークでの試合で勝てたのがうれしかったです。

ありがとうございました

6年 小野 航大 母 小野 桂子

今年も菅平のすばらしい夏合宿が終わりました。例年よりずっとずっと早い梅雨明けでお天気にもぐまれ、最高の環境で練習できたこと本当良かったです。6年生のみんなの時に気合いの入らないプレーにコーチの方々よりも、いらいらしてしまった母ですが、サニアパークでの試合はそれが杞憂なものだったと気づかされました。

あと何回全員でプレーできるかわかりませんが、県大会、ファイナルカップへ向けて、頑張ってもらっています。

そして、今年もすばらしい合宿にご尽力いただきました三浦校長はじめコーチの皆様、5年生合宿係のお母さま方、本当にありがとうございました。

最後の夏合宿

6年 齋藤裕人の母

夏合宿、お世話になりありがとうございました。

最後の夏合宿に私は日曜日から参加させていただきました。頑張っているだろうと期待してグラウンドにいくと、思いがけず体調不良でダウン気味の裕人…。

「見守ろう」「褒めよう」と決めていた私は一瞬でいつもの「鬼母」へ変身。

「中途半端で試合に出るならみんなの迷惑になるからできないと言ってきなさい！」

そのあとも「声をだしなさい！」「これで終わっても良いの！」「しっかりしなさい！」と言い続け最終日のランパス。「声を出しなさい！」と裕人に言うと「口出すな！」と裕人からの一喝。もう「鬼母」は必要ないと感

じた一瞬でした。

泣きながら「声出せよ！」「このままで悔しくないのかよ！」「コーチを見返そうぜ！」とみんなに言っていた裕人。今だから言いますが、私も泣きそうになりました。

最高学年。このメンバーでラグビーをできるのもあと少しです。悔いが残らないように、「声だせよ！」「このままで悔しくないのかよ！」「コーチを見返そうぜ！」この言葉を忘れずに最後の県大会に挑んでください！

親子対決

6年生 津国大喬 父 秀一

大喬がラグビーを始めたのが3年生の時でした。あれから3年、成長したな～と実感した夏でした。6年生になると合宿で親子試合があるという事は聞いていました。コーチ試合でフラフラになりながらも、まだ子供だろうと思いながらグラウンドに立ちました。

しっかりとした走り・当たり・・・子供の成長を自ら体感することができる事の喜び。感動しました。たったの10分でしたが、ノーサイドの笛の後には熱く込み上げてくるものがありました。

コーチの皆さん、県大会・ファイナルカップと続きます。どうぞご指導よろしくお願いします。

4回目の菅平

6年 森田 恵一朗 父 森田 和秀

最終学年としての今年の合宿は例年とは違ったものになりました。4月以降思う様に練習に参加する事が出来ずその調子を合宿にも引きずってしまいました。二日目の夜から調子を崩し、三日目の朝山光館へ様子を見に行った時は正直今日はもうやめさせようかと考えました。しかし、色々な意味で半日でも参加する事の重要性を考え、とりあえず午前中の練習と試合を休むことにしました。ドクターからいただいた薬が効いたのか徐々に食欲が出てきたので、応援という事でサニアパークへ行き、あとは本人に任せました。第一試合でのチームの活躍ぶり、グラウンドの活気からもパワーをもらったのか本人にもやる気が戻り、その日後半の予定をこなすことができました。

案の定試合後の練習ではコーチの方々の熱い思いをひしひしと感じ、それに子供たちが精一杯応えたと思います。自分にとっての限界を幾度となく乗り越えてくれたのではないのでしょうか。声をからし、子供たちのタックルを受け止めていただいた熱いご指導に感謝申し上げます。

合宿をおえて

6年 齊藤 岳 母

今年初めて合宿に参加する3年生を見て、この子達もこんなに小さかったのかな～なんて不思議な気持ちになり、最上級生として厳しい練習に耐える姿に成長を感じました。子ども達が成長できたのも、一人一人に向き合い熱い指導をして下さるコーチの皆様方のおかげとっております。本当に有難うございました。

秋には最後の県大会が控えています。今までに得たものを全て出し切り一丸となって自分に負けない様、悔いの残らない試合をしてくれたらと思います。母達も一丸となって回りの目を気にせず悔いの残らない応援をしたいと思っています!!!

菅平合宿

6年 山崎太凱 父(裕二)

菅平の合宿、子供同様に楽しみにしておりました。子供達の成長した姿を見ることも一つですが、個人的には自分がラグビーをやってみたくて、親子試合にワクワクしていました。

でも”やってみて”すぐに足が言うことを聞かなくなり、逆に子供たちのタフさを実感しました。

合宿最後のランパスには、普段走っているところなど見たこともない家内も参加し、コーチの皆様、子供たち、父兄の皆様と”一体感”を感じることができました。

合宿を通して、最高の時間を過ごさせて頂きありがとうございました。

5年生



夏合宿を終えて

5年チーフコーチ 山本 慎一

今年で3回目の夏合宿になりました。
慣れてきたおかげで大きなトラブルも無く、無事終わることが出来ました。
早いもので5年生になり、自覚も出てきて、かわいい後輩の面倒も多少見ることが出来るようになりました。

今年のテーマは、“仲間”
今まで、あまり意識をしていなかった点です。
5年生になると、一人では簡単に抜けなくなるし、止められなくなります。
仲間を大切に、お互い励まし合いながら、全員で戦う姿勢を持つことが大切だと思っています。
まだまだ意識が低いですが、少しずつでも変えることが出来ればと思っています。
引き続きご支援の程宜しくお願いします。

One for All, All for One

この合宿で、お手伝いいただきました多くのご父母の皆様へ、改めて感謝いたします。
ありがとうございました。

子供達へ一つ苦言 食べる量が少なすぎ！もっともっとたくさん食べて、体を大きくしよう！

夏合宿を終えて

5年サブコーチ 古田 十

楽しみにしていた夏合宿が終わりました。
あっという間の3泊4日でしたね。
楽しかった？ツラかった？楽しかった？うれしかった？くやしかった？
感想はいろいろでしょう。

よくわからないかもしれませんが、あのような環境でラグビーができることは貴重な経験です。多くの仲間と(まずは小学校6年生まで)ラグビーの夏合宿を3泊4日、みんなで過ごしたことはきっと大人になってもみんなの財産になります。ぜひ最後まで全力でがんばってください。

応援してくれるお父さんお母さんに感謝してください。ボール、ヘッドキャップを大切にしてください。

夏合宿の成果は6年からの2トライとりょうすけの菅平賞。
自分自身の成果は五郎丸のパスを受けることができたこと(^_^)

みんな、ここからが本番です。県大会が終わるまでラグビーのことを考えて過ごしましょう！

夏合宿を終えて

5年 日笠 壮太

夏合宿では、目標にしていた「みんなに合わせて前に出る」ことがあまりできなかったけど、7/28の練習のときに前に出られていると言われたので、これからも前に出て、目の前にいる相手チームの選手がスピードを出して走り出す前に止めるようにがんばりたいです。

合宿を終えて

5年 奥川 朝陽

今回の合宿では、紛らわしかったセンタースクラムの時のサインをしっかりと覚えられました。練習や試合で間違えずに出来るようになったので、嬉しかったし、安心しました。
寝るのが遅くなったので、来年は少し早く寝ようと思いました。

今年の夏合宿

5年 斎川 夏央

ぼくが今年の夏合宿でがんばったことは、自分のとい面に関係なくタックルをしたことです。
でも他の所に行きすぎて自分のとい面のディフェンスがうすくなってしまいました。
秋の県大会に向けて気をつけて、タックルでしっかり相手を止めたいです。
そして声も大きく出したいです。

痛かった合宿

5年 小坂 海歩

今年で3回目の合宿なので、少し慣れて来て、よゆうかなと、思っていたら、練習中に目の上をぶつけて腫れてしまい、練習を休んでしまいました。

前の週に反対側の目の上をぶつけて腫れたばかりだったので、やっぱり練習は痛いなぁと思いました。せっかく合宿にきて、ちょっとしたケガで、練習ができなくて、残念でした。来年は最後の合宿なので、絶対に気をぬかずがんばりたいです。

夏合宿を終えて

5年 児玉 将梧

今回の合宿で、僕はフルバックをやりました。合宿中に、抜けてきた相手を止められるようになり、相手がキックをする時の位置などが分かるようになりました。また、僕のいる B チームはラインを作るのが苦手だったけれど、合宿中の試合ではラインを作ることができました。小坂コーチには、アングルチェンジやパスの仕方を学びましたが、試合で生かすことができなかったのも、県大会では小坂コーチに教えてもらったことを生かして試合に臨みたいです。

夏合宿を終えて

5年 太田 佳吾

ぼくは、あまりFWの基本の動きが分からなかったのも、それを今年の合宿の課題としてやりました。練習は大変だったけれど、多分、課題をクリアできたと思います。ただ、試合中に強く激しいオーバーができなかったのもそこを次の課題にして練習をやっていきたいです。

心は次の夏合宿

5年生 角田 翔

来年こそ菅平賞！

菅平賞

5年 野田 怜佑

ぼくは、合宿で自分の得意な当たりを強くすることが目標で、特にローリングを極めていきたいので、練習でも試合形式があれば、ボールをもらい自分からとっばして行きました。

日曜日の試合でもボールをもらい、自分から3人をぬいて、その後も仲間がつかないでトライをしてくれて良かったです。その試合で関東の一、二位を争うチームにあたったときでも、ローリングが通用したので、自信がついて良かったです。

月曜日に菅平賞が発表される時、みんな他の人が選ばれると思っていたけど、自分が選ばれたのですごくびっくりしました。来年はタックルを極めたいです。

夏合宿を終えて

5年 横尾 瑛

今年の合宿は自分の目標を2つ立てました。

1つは、合宿中のご飯は必ず食べることに！

2つめは、ハーフの時パスを正確に出すことです。

ご飯は去年より食べる事ができました。

ハーフの正確なパス出しはまだまだでした。他のチームの練習や試合を見ていたら自分たちよりかなり上手でした、これからもっと練習して県大会に向かって頑張ります！

夏合宿

5年 飯島 亮太

僕は夏合宿前にハーフになりました。早くポイントに行き、ボールを出せるように頑張りましたが、イメージしていたより、ちょっとしたミスが多かったので県大会までには上手になりたいです。あと、副班長だったので、6年生がいないときに3、4、5年に声をかけてまとまるように頑張りました。みんなも協力してくれて良かったです。

「5年の夏合宿」

5年 山内 太郎

今年良かったところは、守り。相手とからんでいる時に離さないようにし止めた。もっとがんばりたいところは、ボールを受けるスピードが遅く取れない時があった。そこを県大会までに練習したい。副リーダーと

しては、リーダーが居ない時、みんなに声を掛け、班がまとまるようにした。

夏合宿を終えて

5年生 津国 千智

僕の合宿の目標は、「低いタックルをきめて相手を確実に倒せるようになる。」ということでした。

練習の時にはしっかりと相手を倒すことが出来ていたのですが、試合ではそれをじっせんすることが出来ませんでした。なぜなら相手を恐れ、タックルにいくのを避けて仲間に頼ってしまったからです。痛いからといって、タックルを避けるのではなく、自分が止めるつもりで積極的にプレーしていきたいです。

また、足が遅いという欠点をどのようにカバーしていくかも考えたいです。サインプレーも覚えます。

夏合宿で思ったこと

5年 上田 武蔵

ぼくがこの夏合宿で学んだことは、フォワードやバックスの気持ちです。

フォワードはこうすれば動きやすいから、次ハーフをやる時は、こうフォワードを動かせばいいんだな。バックスではハーフがちゃんと投げないとみんなが苦労するな、など、わかってよかったです。でも何よりも学んだことは、今年のスローガンでもある「仲間」です。

辛い時はみんな辛いので、1人が口を切れればみんなも声を出して、協力し合う。これが「仲間」だと思います。試合で負けている時も、キャプテンのしゅんすけが声を出すことによって、みんなが声を出す。

結果的には負けてしまったけれども、トライ数をちぢめられたので、声の力は大きいんだなとわかりました。

合宿の思い出

5年生 萬場 康生

ぼくは、合宿に行き行って出来るようになったことはタックルです。

前までは、ビビって手だけでいっていたけど体で入れるようになりました。高崎ラグビースクールとの試合は、高崎のボール出しが速く、ライン作りも二人目も速かったので、ぼくは、そこをみならいたいです。

最後の6年生との試合は、6年生はやっぱり強いと思いました。先にトライ

をとれたので勝てると思ったけど、すぐトライをとられて負けてしまいました。

今度は、6年生に勝ちたいです。

夏合宿を終えて

5年野村 雄亮

僕の夏合宿の目標は状況を判断しパスすることでした。でもラインを作ることを意識しすぎてうまくできませんでした。ラインができていない時は自分で持って行ってしまった事がうまくできなかった理由です。

チームとしてはラインを作ることを目標にしていました。ラインを作れるようにはなってきたけど、そのあとのラインコントロールができずギャップができてしまったので練習していきたいと思います。良かった点は6年との試合でいい試合ができたことです。

合宿で B チームは強くなったと思います。合宿でできなかったことを練習して県大会に臨みたいと思います。

夏合宿を終えて

5年 野田 怜佑 母

今年の合宿では菅平賞をいただき、主人から連絡をもらった時には親バカですが、涙してしまいました。5年生の全員がそれぞれのポジションでチームの為に一生懸命プレーしていたので、まさか怜佑がと思い…。ただ、今回は練習でも試合中でも自信を持ってプレーしているように見えて、成長したなあと感じました。この勢いで県大会ではさらなる活躍を期待しています。頑張ってください！！

4年生



上段 飯島コーチ・濱田パパ・濱田コーチ・野田コーチ・斎川コーチ・原田コーチ・井上コーチ・芝田
一チ・加賀コーチ・萩原パパ
中段左から 無田快・小高佑・神下弘太郎・村松京弥・京屋洸琉・池田昂生・都留奈菜実・都留光平
下段左から 原田太陽・海老原銀次・竹川正剛・萩原起・濱田昂輝・宮澤樹・坂脇優来

夏合宿！

4年チーフ 濱田 正行

皆様のご協力が無事に夏合宿を終える事が出来ました。

予定があり、残念ながら参加出来なかったメンバーもいますがチーム力は格段に上がりました。

今回、飯島コーチを中心として4年生が目標に掲げる「走る！つなぐ！倒す！」を実践する為、練習では特にタックル等の「コンタクトプレーの強化」を行いました。

また、練習中に「声を出す」「話を聞く」「走って集合する」事も注意して指導しました。

恒例のサニアパークの試合では3試合行い、全勝と言う素晴らしい結果を残す事が出来ました。前日までの練習の成果を出し、ラック・モールでも麻生の方が強かったと思います。

翌日の3年生との試合では1本もトライを奪われる事無く、大差で勝利し、濱田と斎川コーチの「1本でも取られたら坊主頭」を阻止してくれました。(ありがとう！)

サニアパークの試合では入校したばかりのコウキ(池)の初トライがあり(今頃になってビデオを見て気づきました…)、マナミの惜しい！トライ場面もありました。

3日間を通して若干体調が悪くなった子供もいますが大きな問題は無かったかと思っています。ユラが指を痛めて一時、練習を見学しましたが試合には参加出来ました。

コーチでは渡部コーチが体調不良の中で頑張って練習に参加してくれていましたが最後のコーチ試合の前に肉離れを起こしてしまいリタイアする事になってしまいました。(夏風邪だったようです)

今回、菅平賞には銀次が選ばれました。

4年コーチ間で夜遅くまで協議し、決定しましたが非常に迷いました。皆が同じ位頑張っていて各コーチからはほとんど全員の名前が上がった位です。

銀次については試合だけではなく練習でも常に100%で望む姿勢を評価しました。

プレーで仲間を鼓舞し、引っ張って行ってくれました。

最後に応援に来てくれた父兄の方々、コーチの方々、本当にありがとうございました。

夏合宿を終えて

4年サブチーフコーチ 野田卓人

今年の菅平は気候に恵まれ、日中は涼しく、激しい夕立が降ることもなく、合宿を行うには最高のコンディションでした。

毎年のことながら子供たちはこの合宿で、心技体すべてが成長しますが、今年は特に、サニアパークでのジャンボリーでそれを見せてもらいました。

チームとしての課題であった「声を掛け合う」、個々人が課題として認識していたスキル、そして相手にリードされても弱気にならないでボールを奪いに行く姿勢、いずれも目標を達成出来たと思います。

3試合を行い、いずれの試合も、サイドから見ていて涙が出そうになる位素晴らしい内容でした。素晴らしい内容で3連勝。子供たちは合宿でもの凄く、自信がついたと思います。この調子で、県大会に突入すべく、夏休み後も練習を頑張ろう！！

夏合宿から県大会に向けて

4年サブチーフコーチ 齋川 宏

まずは、今年も合宿を支えられた各ご担当者の方々には感謝いたします。ありがとうございました。

子供達も2回目の正式な夏合宿。去年も一生懸命頑張りましたが、「試合結果」に限れば厳しさの残る合宿でした。今年は中学年との括りで対戦相手次第(去年とは対戦相手の学年が逆)という事もあり、去年の借りはキッチリと返す事が出来ました。やはり、勝ちみんなに自信を与え、コーチも含めチーム全体が明るくなります。

合宿は良い形で終わる事が出来ましたが、本当の成果を試されるのはこれからです。頑張った夏合宿をベースにした8月、9月の練習が県大会の結果に繋がる筈です。弱い所を強化するのは勿論ですが、強味を全面に押し出し「自分達はやれる！」という自信をしっかりと持てるチームに、子供達と一緒に作り上げたいと思っています。自信と、もう一つ「責任感」。共に、チームプレイを会得しつつ、地道に子供に負担なく浸透させて行ければと考えています。

2013年菅平合宿を振り返って

4年技術コーチ 飯島 盛二

子供たちに「はしる・つなぐ・たおす」を体と頭に刷り込ませたい思いで、練習メニュー組み、声を張り上げたが、どこまで通じたかは不明。結果は直に現れなくとも、数か月後、1年後、または数年後、子供たちが「あーそう言えばあのコーチが言っていたことはこういう事か」と、涼しかった菅平での思い出と共に消化してくれれば十分かなと思う。

夏合宿を終えて

4年コーチ 芝田 知幸

今年の菅平合宿は行きのバスから帰りのバスまでフル参加させて頂きました。昨年は低学年コーチとして参加させてもらい、正式な形での参加は今年が初めてとなります。

合宿を通して思うことは、この菅平合宿は子供達が多くの良い経験をさせる事の出来る合宿だと思います。子供にラグビーを専念させる環境を作れ、技術的にも精神的にも多くを学べ、また集団行動の大切さも学んでくれたと思います。

今年の合宿で一番嬉しかったことは、子供達の一生懸命な練習の成果をジャンボリーでの試合で見せてくれた事です。試合では全員が思い切った良いプレーをし、全勝してくれました。

子供達には、この夏合宿で学んだ事、ジャンボリーで全勝出来た自信を糧に県大会でも頑張ってもらいたいと思います。

夏合宿

4年 神下 弘太郎

最初は「勝てるかなあ。」といういいかげんな気持ちだったけど、練習している内に「勝つ。」というたしかな気持ちになってきた。そして、試合は勝った。が、外にぬける、などという課題はまだ残っているからしゅうせいしなければいけない。出来なかったこともふまえて、足がかりにして頑張っていきたい。

合宿から帰って。

4年 無田 快

ぼくは夏合宿でいろいろ大きく成長したと思います。
たとえばオーバーにうまく入れるようになったり、あばれたり出来るようになったり、ほかにもいろいろな事が成長したと思います。
これからも自分のベストをつくしていきたいと思います。

目標達成

4年 萩原 起

ぼくの合宿の目標は「タックルをうまく決めること」でした。ですが練習では外しまくったりうまくヒットできませんでした。だけどサニアパークでの試合では回数は少なかったけどうまくタックルができました。

さらに試合では全勝でした。全勝は4年生だけだったのでうれしかったです。

今回の合宿で、タックルが少しだけうまくなったなと思いました。今回のことを生かして、県大会につなげたいと思います。

今年の夏合宿

4年 原田 太陽

ぼくが今年の夏合宿で一番がんばったことはパスです。なぜかという、ぼくがパスを失敗してしまうとラインがやられてしまうので、パスに気をつけてプレーをしました。うまくパスが通ると、相手をぬけてうれしいです。

これからももっと速く強いパスができるように練習して、今年の県大会は勝ち進みたいです。

3回目の合宿

4年 宮澤 樹

今年も、合宿へ行きました。

すごく練習はきつくて、右足がすごくいたかったです。

一番きつかった練習は、タックルの練習を3種類くらいやったことです。とくに右足がいたくなったのは、ほとんどそれです。

試合は、2試合やって、どっちとも勝ったけど、ぼくは、1点しかとれませんでした。

来年の合宿も、試合に勝って、練習で休まないようにして、菅平賞をとりたいです。

夏合宿

4年 京屋 光琉

キャプテンになって、みんなを引っ張っていけるのか心配です。

でも、キャプテンとして大きな掛け声とあいさつをしていきたいです。

合宿では目標の一つ(試合に勝つこと)を達成できてうれしかったです。

このまま県大会優勝を目指してがんばりたいです。

夏合宿

4年 都留 光平

ぼくの夏合宿で一番がんばったことは、3人でふせて、ふえが鳴ったら起き上がって、ボールを持ってあたる練習です。

スピードを落とさずにあたり、あたった後に仲間が入りやすいようにしようと思いました。しかし、試合の時に、スピードを落とさずにあたるということはできたけど、あたった後に仲間が入りやすいようにすることは、なかなかできませんでした。

次は二つともできるよう練習をがんばりたいです。

試合について

4年 都留 茉奈実

私の試合前の目標は「ボールを持っている人を一人にしない」という事でした。

けれども試合にはいったら「ああ、今負けている」とか集中すること以外の事を頭で考えてしまい、「ボールを持っている人を一人にしない」ということがあまりできませんでした。

また、練習ではタックルも少しできていたのに、試合になると怖くなってしまいタックルができなくなりました。

夏合宿から見えた目標

4年生 竹川 正剛

夏合宿が終わって、新しい目標ができました。

江東ラグビースクールとの試合で前半は1-5で負けていたけど後半は7-0で追いついて逆転しました。前半からもっとトライをとりたかったです。

県大会では、みんなで最初から声をかけてトライをとりに行きたいです。ぼくはキッカーなのでドロップキックを正確にけりたいです。

夏合宿

4年生 海老原 銀次

夏合宿で全勝して、嬉しかったです。

こうとうと戦った時に前半チームワークがなくて 後半にはみんなが頑張ってチームワークがよくなって勝って嬉しかったけど、自分はもっと頑張れたと思うから、県大会では 全部の試合でチームワークよく、前半から全力で戦いたいです。

練習きつくなかったです。なのに、菅平賞もらえて嬉しかったです(^_^)V

夏合宿

4年 小高 佑

夏合宿では去年負けたチームに勝つことができうれしかったです。でも、後半に3年生が入っていたことを聞いて、3年生がいないチームに勝ちたいと思いました。なので、練習をがんばろうと思います。

夏合宿

4年 濱田 昂輝

ぼくは、この合宿で、タックルに早くいく、外で勝負することを目標にしました。この2つをやりとげることができたのでうれしかったです。それから2年連続でAチーム賞をもらったのもうれしかったです。

それでもスペースを見つけて走りこむことはまだできていないので、きょうやをみならって走りこんでいけるようにしたいです。

夏合宿で思う事

無田 快の母 無田 佐恵

去年、サニアパークで試合がある日の朝、練習グラウンドを訪ねると、私を見た途端、息子は涙ぐんでいました。

今年は合宿に行く前から気合をいれて髪を短くしておりましたが、グラウンドで顔を合わせても表情を変える事無く練習を続けておりました。

もう泣き虫な息子はいないのだな、とその時に感じました。

ラグビーを通して息子の成長を日々感じさせていただいておりますが、合宿は更に子供達を強くたくましく育ててくれる場であると思いました。今後も心身ともに大きく強くなって欲しいと願っております。

合宿に参加して

萩原 起の父 満

ARSのコーチ、保護者の皆様、合宿お疲れ様でした。今年の合宿も親子共々楽しませていただきました。

長男がARSを卒業しましたが、次男と長女がこれからもお世話になります。私はコーチではありませんが、練習に参加させていただくとコーチの方が気さくに接してくださり、子ども達とも楽しく交流することができる、このARSが大好きです。仕事の都合上、年に数回しか参加できませんが、今後とも宜しく願います。

次男の起も、少しずつではありますが成長してきていると思います。何があってもすかしてしら一っとしていますが、実は内側では意外と悔しいっぱいなことも多いのです。この合宿では少しですが自信をつけたみたいです。これからもびしびしぱしぱと鍛えてやってください。

全敗から全勝へ

4年 原田 太陽の父 原田泰一

昨年に引続き親コーチとして菅平合宿に参加させていただきました。お忙しい日常の合間を遣り繰りするなか、ご指導にあたっていただいたコーチの皆様、合宿の運営をお手伝いいただいたお母様方に改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

対外試合全勝！何といっても今年一番の思い出はこれにつきますと思います。昨年の菅平は相手が4年生中心ということもありコテンパンにやられ対外試合全敗の憂き目を見たことは記憶に古くないところですがよく過程が大切と言いますが、本当にそのとおりだと思いき、否定する気持ちは毛頭ありません。しかしながら今回ばかりは結果はもっと大切と感じました。内容はともあれ「勝利・全勝」という事実が子供達に与えた自信がいかほどのものかは彼らの表情を見れば実感せずにはいられませんでした。

この1年間、コーチ陣の悩みは尽きないものだったと察します。同時に子供達のストレスも並大抵のものではなかったのではないのでしょうか？

俺達は勝った、強いんだという自信を持つことが今後の努力(プロセス)にも計り知れないプラスの効果をもたらすことでしょう。それはRUGBYだけでなく、今後の人生においても・・・

そんな素敵な『聖地菅平』にありがとう！

夏合宿が終わって

小高 佑の父 小高 聡

3回目の夏合宿。本人もすっかり慣れて楽しくプレーできたようです。ただ、相変わらず課題も多く、親としては歯がゆい部分もありますが、これをぐっと我慢し、県大会に向けて課題・やることを意識づけて、プレーの質・技術が上がるようフィールドの外で粘り強くサポートしたいと思います。今後ともよろしく願います。

夏合宿

濱田 和弘 (昂輝父 兼 4年臨時コーチ)

今年は金曜日から最終日まで子ども達と行動をともし、充実した合宿生活をおくることができました。まずは、運営を取りまとめてくださった麻生ラグビースクールのコーチの皆様、5年生のお母さま方に感謝いたします。

4年生の子ども達と一緒にプレーをするのは実に2年ぶりでしたが、合宿が進むにつれて伸びていく子ども達を見て改めて子どもの成長力の早さを感じました。また、試合ではチームワークと勝ちたい気持ちを全面に出して頑張る子どもの姿を見て応援する手にも力が入りました。個人的には最終日のコーチ試合で久々に思いきり走る事ができて心身ともにリフレッシュすることができました。有り難うございました。

3年生



前列左から:楠元 隼くん、實方勇人くん、佐々木廉人くん、菅田光真くん、奥川煌星くん、古川達也くん、佐藤祐太郎くん、斎川春朗くん、卯月快杜くん、芝田好輝くん、土方将嗣くん、石野創太郎くん、高橋遼成くん

コーチ:金コーチ、野村サブチーフコーチ、實方コーチ、菅田コーチ、竹川コーチ、伊藤チーフコーチ、津国コーチ、川口コーチ、重住コーチ、武井コーチ(下写真前列右)

↓夏合宿をさせて頂いたご父兄の皆様と…↓



夏合宿を終えて、

3年生チーフ 伊藤 信一

3年生の多くのメンバーにとっては初めての夏合宿、私自身もチーフとしての立場では初めての夏合宿参加となりました。恐らく色々な不安を抱えながらもご父兄の皆さんは夏合宿での成長を期待して子供達を送り出された事と存じます。

私は仕事の都合で土曜日からの参加となりました。グラウンドに着くと既に練習は始まっており、涙を流しながら走っている子が何人も... えっ!?!いきなり!?!これは最後までやり抜けるのか?との一抹の不安を感じましたが、しかし!!これが菅平!!夏合宿!!子供達全員が辛く苦しいながらも最後まで着いてきてくれました。(幸い今年是比较的涼しく天候にも恵まれたこともありましたが、)成果を試すミニジャンボリーでは4年生主体の県外のチーム相手に善戦しながらも結果を残せず。菅平での記念すべき1勝目は来年の楽しみに取っておきましょう。

そして13名のメンバーは全員が実質三日間の夏合宿メニューを最後までやり終えて山を下り、黒川に着いたバスから降りてきたメンバーはホントに逞しい顔つきになっておりました。子供達には「この厳しい夏合宿を最後までやり抜いた事に自信を持って!!」と伝えました。必ずや秋以降の結果に繋がってくると思います。未だこれからも厳しい練習が続きますが頑張って取り組んでいきましょう。

最後にこの合宿を支えてくださった5年生のご父兄を中心としたご父兄の皆さま、本当に有難う御座いました。

リトルラグーマンになった日

3年コーチ 重住 英彰

往路のバス車中では遠足気分でおおはしゃぎしていた3年生も、いざ夏合宿の練習が始まると「いつもとは違うぞ」と感じたのか、直ちに目の色が変わりコーチの指示に食らいついてきました。

これらの夏合宿の練習メニューは、コーチ陣が事前に議論を尽くして作成したものですからコーチの動きは手際よく子供たちを決して休ませません。とは言ってもきつい練習の合間には遊びの要素も加えて極めて効率的に練習メニューを消化し、大自然の中で初合宿を満喫しました。

さらに夜のミーティングではホワイトボードの上でラグビーの理論を学び、同時に自分達のプレーのビデオを鑑賞して自らの欠点の把握につとめ、各自が具体的な目標を定めました。

そして、この気迫で臨んだジャンボリー大会では4年生を相手にしても気後れすることなく粘り強い試合を展開し、一回り逞しさを増したようにも映りました。

と、ここまでの事実を積み上げると、今年の3年生恰も麻生RSの歴史に残る優秀学年のように映りますが、やはり諸先輩と同じ「普通」の学年でした。

合宿の後半になると体力的な疲労のみならず、気力が薄れてた「テント組」が続出しました。この時コーチは弱気になった子供たちに無理強いせず、むしろ彼らの自主性を促しました。まずはラグビー漬けの生活の中で、自らラグビーを楽しむ術を見出だして欲しかったのです。

また上級者と一緒の学年縦割りの班別生活の中では、必ずしも面倒見の良い兄貴分だけではなく、時には理不尽な先輩に戸惑ったこともあったかも知れません。

大風呂で大騒ぎしては着替えの忘れ物に一喜一憂し、大勢での食事を楽しみ、子供たち自身によるバーベキューに歓喜の声をあげた事などの数々の共通の思い出が、秋の県大会へ向けて新たなチームワークの強化に繋がることを期待します。

これらの子供たちのお陰でコーチも楽しむことができました。感謝!

つらい練習はなんのため

3年コーチ 武井智之

みんなにとってラグビーだけを1日中、それも3日間もやりきったのは初めての経験だったでしょう。ほとんどの子が、目に涙を浮かべながらも、本当によく頑張っていたね。それでも練習が終わり三光館に帰ると、これまた元気一杯に走り回る底力にはコーチもビックリしました。

つらい練習でやったことを一つでも試合でやってみて下さい。そうしないとただ辛い練習をやっただけになってしまうよ。練習でやったことを試合で多くやれたチームが勝利するんだよ。これからもみんなで頑張ろう。

はじめての合宿

3年生 佐々木 廉人

練習の時、いろいろな人にめいわくをかけて悪かったと思います。
これからは、試合でかつやくしたり、練習もしっかりできるようにしたいです。

きつかった夏合宿

3年 石野 創太郎

練習はすごくきつかったけど三日間頑張ったからすごく強くなったと思うので、また試合があったら勝ちたい。

初めての夏合宿

3年 楠元 隼(くすもと じゅん)

- 一番きつかった練習
「ショットガン」が苦しかった。
- 合宿でできるようになったこと
ボールをもらって、前に出られるようになった。
- 練習以外で楽しかったこと
バーベキューが、ちょ～うまかった。
- その他
来年も行きたい！

はじめての夏合宿

3年 卯月 快杜

ぼくは、し合いを何し合いかして1回もかてなかったです。とくにこう東ラグビースクールは、強くてまけてとてもやさしかったです。来年は、もっと練習して勝ちたいです。

夏合宿で頑張ったこと

3年 斎川 春朗

ぼくは、夏合宿で練習をがんばりました。
目ひょうは、トライは3本以上タックルは5回以上でした。よそのチームとの試合ではトライ2本、タックルは3回くらいしかできませんでした。
タックルをもっとがんばりたいです。
ショットガンで頭が逆になったので、なおしたいです。

夏合宿

3年 佐藤 祐太郎

はじめてのがっしゆくでたのしかったことは、花火の「たまやー」など言ったことです。うれしかったことはしあいにかけたことです。

これからのもくひょうは、オーバーをひくく、早くすることです。

合しゆくに行つて

3年 菅田 光真

合しゆくで楽しかったことは花火です。グラウンドで食べた朝食。バーベキューとドッジボール。きつかったことは、さい後のランパス。合しゆくではオーバーがたくさんできるようになったと思う。合しゆくがおわつてこれからはオーバーをたくさんしたい。スクラムに一番早く行きたい。合しゆくは楽しかった！

楽しかった夏合宿

3年 高橋 遼成

初めての合宿。さいしょに班が決まった時、三年生は一人でこわかったけど、合宿に行ったら楽しかったです。

練習はショットガンがきつかった。試合は1試合から三試合まできつかったし、大和に負けたのがくやしかった。もっと強くなって大和に勝ちたい。

夏合宿を終えて

3年 佐々木廉人の母(佐々木真里)

入校して1カ月ほどで合宿に参加した息子がバスで菅平へ出発する時の表情は、楽しみのような不安なような・妙なものでした。

合宿初日から夫婦揃って菅平へ向かいましたが、目に留まるのは練習についていけない息子の姿…

コーチのみなさま 合宿でお世話をいただいたみなさま、人一倍世話のやける息子をあたにかいまなぞしてみてくださいまして、本当にありがとうございました。

大泣きしながらろうじて練習についていった息子ですが、最終日帰って来たバスから降りると開口一番「来年も合宿に行きま〜す！」目が点になるとは まさにこのことだと、つくづく息子の謎めいた?力に驚かされました。

体重だけでなく、面倒をおかけすることも群を抜いている息子ですが、これからもご指導よろしくお願ひいたします。

合宿

3年 土方将嗣 父 土方 隆

将嗣も3年生になり、初めての合宿参加となりました

参加申し込みはしたものの、普段から臆病な性格のため、「やっぱり行きたくない」と言い出すのではないかと冷や冷やしていました。

コーチからの合宿に向けての声掛けや、宿題であるパスアップの練習カレンダーのおかげでしょうか？

途中嫌がることもなく、高いモチベーションのまま、無事に出発当日を迎えることができました。

合宿中は2日目より見学に行きましたが、声を枯らしての真剣な指導に、コーチと子供達が一丸となって必死に練習する姿勢には、たいへん心を打たれました。

サニアパークでの最終戦では相手に攻め込まれる中、思うようにプレーができない悔しさからか、途中涙を流しながらプレーする場面もありましたが、悔し涙が流せるほどに成長したのだなと感じました。

合宿を終えて迎えの車内で合宿の感想を聞くと、「面白かった〜、また行きたい」と拍子抜けするような返事でしたが、おどけたしぐさの中にも顔つきが出発前より少し大人びて帰ってきたなと感じました。

4日間の合宿を通して、ラグビー三昧という苛酷で厳しい状況を乗り切ったという経験はきっとこれから大きな自信につながっていくと思います。

このような貴重な体験を積むことができたのも、コーチの方々、お世話して下さったご父兄様方のおかげと心から感謝しております。ありがとうございました。

感動しました

3年生 石野創太郎 母 石野裕子

私は、一日だけ様子を見に行きましたが、想像以上に厳しい練習でした。汗だくになりながら懸命に頑張っているみんなの姿を見て感動しました。合宿を通じて達成感を味わい、仲間への思いやりの気持ちも育ってくれていると嬉しいです。コーチの皆様、合宿係のお母様方、大変お世話になり、ありがとうございました。

菅平夏合宿

3年生 卯月快杜の母 卯月 有加

まず、夏合宿では「忘れ物王」だったということで、ご迷惑をお掛けしました。私としても意外な発見でした。来年は、きちんと出来るようにしつけたいと思います。

菅平は猛暑の東京と比べて涼しいとはいえ、日差しが強く暑くなったり、雨が降って寒くなったり・・・そんな中、コーチの方々もいつもより熱く指導してくださり、想像以上にタフな内容だなと思いました。3泊4日の合宿を無事乗り切ったことだけでも「みんな良くがんばった！！」とほめてあげていいのではないかと思います。

たぶん合宿の様子を見ていなかったら、だめだしばかりしてしまったんだろうなあ・・・と思います。合宿を見に行ってもよかったです。感動しました。

コーチの皆様・担当のお母様方・お手伝いしてくださった皆様・そして子どもたち、本当にお疲れ様でした。

夏合宿終えて

3年生 佐藤祐太郎母 佐藤成江

合宿終え帰ってきた時は、ほんとたくましくなった！

と感じました。そして菅平賞は驚きと感動でした！

こんな苦しい思いをしたのは初めてだったんじゃないかと・・・苦しいこと、つらいことはあるけど、一瞬の嬉しいことのために頑張れるようになったらいいと願ってます。

合宿中にご指導いただいたコーチの皆様さんには感謝しています。ありがとうございました。

夏合宿に参加して

3年 菅田 光真 父

初めて麻生RSの夏合宿に参加させていただきました。個人的にも15年ぶりの菅平です。15年ぶりの菅平で、久しく味わっていなかった感動をもらいました！

今回3年生となり合宿初参加の息子とともに親コーチとして3年生の練習に帯同させていただきました。久しぶりに一緒に練習する3年生は2年生の時とは比べ物にならないほどしっかりとラグビーをしていて、いつもより少しばかり厳しいコーチの檄にも負けず、時に笑い、時に泣きながらラグビーと真剣に向き合っていたように思います。

特に練習最後のランパスは、大人でも辛かったのに、仲間を鼓舞し声を掛け合う姿が見られ、本当に胸が熱くなりました。

合宿に参加してますますラグビーが好きになりました。今から来年が待ち遠しいです。有難うございました！

低学年



ダボスの丘にて

夏合宿を終えて

2年コーチ 大坪 功

今年のミルキーは2年生7名、1年生3名、幼稚園1名の計11名の参加でした。また、中学1年の川原奨平くん(2年生川原稜平くんの兄)もコーチとして参加してくれました。

今年から合宿担当の方々ので、山光館に泊まった2年生の5名は3年生以上の生徒達同様、各班に分かれた集団生活を体験。宿舎では父母兄弟とは別の班行動。さぞかし不安と期待に胸を膨らませた事でしょう。これだけでも貴重な経験であり成長の糧になったと思います。

2年生は持ち前の負けん気の強さで、3年生のアタックディフェンスに交替で参加させてもらった際も、ガッツのあるプレーで挑んでくれました。

ジャンボリーでは身体が大きく1枚も2枚も上手の相手と対戦。僅差で負けはしましたが、決して逃げる事なく粘り強く最後まで戦い抜いてくれました。

最終日の3年生との試合では2トライをもぎ取ってくれました。合宿での成長がうかがえる意地のある感動的なトライでした。最後のランパスも10本やり遂げましたが、まだまだやりたい！という子供もいるくらい。本当に意欲的で楽しみな学年です。

5年生の夏合宿担当のお母さま方には、イレギュラーなことも多々あり、大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。臨機応変にご対応頂きましたこと改めて感謝いたします。本当にありがとうございました。

すがだいしょうをもらった

2年 野田 航佑

ことはじめて合しゆくにさいしょからさいごまで行ったのでとてもきつかったです。3日目はきんにくつうになったけど、たのしい合しゆくでした。

4日目 れんしゅうをした後、『すがだいしょう』をもらいました。うれしかったです。

らい年の目ひょうは、さいごまであきらめないで上の学年にかつことです。

しあいにてて

1ねん ひかさ あつと

しあいにててたのしかったです。

もっとトライをきめれるようにがんばりたいです。

1ねん さかわき ゆう

一試合負けてしまったので、練習を頑張って来年は優勝したいです。

夏合宿を終えて

2年 野田航佑 母

今回、初めてバスに乗せて参加させ、ちゃんとできるのか心配していましたが、みんなと楽しそうに練習し、試合にも積極的に参加していたので安心しました。合宿係のお母様方、コーチの皆様のサポート有ったことだと思います。ありがとうございました。

また、思いがけず2年全員に菅平賞までいただき、リコーカップの優勝に続き、子供達には嬉しいことだったと思います。

この勢いで更なる活躍を期待しています。

2013年夏合宿の総括

幹事長 加賀

合宿に参加したコーチとお手伝いの父母の皆さんお疲れ様でした。以下に夏合宿の総括を報告します。

1. 参加者は小学生単独で、昨年と同様でピーク145名が参加しました。

| 日程 内訳 | 12(金) | | | | 13(土) | | | | 14(日) | | | | 15(月) | | |
|----------|-------|--|----|----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|------|
| | バス往路 | | 夕食 | 宿泊 | 朝食 | 昼食 | 夕食 | 宿泊 | 朝食 | 昼食 | 夕食 | 宿泊 | 朝食 | 昼食 | バス復路 |
| 生徒 | 61 | | 61 | 61 | 61 | 64 | 64 | 64 | 64 | 65 | 64 | 63 | 63 | 63 | 62 |
| コーチ男 | 18 | | 18 | 21 | 25 | 36 | 40 | 41 | 41 | 43 | 39 | 38 | 38 | 35 | 19 |
| 母 | 7 | | 7 | 7 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 19 | 15 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| 父 | 2 | | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 8 | 6 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| 子供 | 3 | | 3 | 3 | 3 | 3 | 6 | 6 | 6 | 10 | 6 | 6 | 6 | 6 | 3 |
| 合計 | 91 | | 91 | 94 | 102 | 117 | 124 | 125 | 125 | 145 | 130 | 121 | 121 | 118 | 97 |
| 去年 | 94 | | 96 | 97 | 108 | 125 | 131 | 131 | 131 | 146 | 135 | 128 | 128 | 115 | 93 |

2. 行きのバスは、17時05分黒川出発で府中ICから八王子・圏央道経由で、途中上里SAで弁当・飲み物を配布し車中で食べ、予定通り21時30分に到着しました。
 帰りは13時出発、佐久平PAと上里SAと狭山PAでトイレ休憩し、途中渋滞がありましたが、18時30分過ぎに帰着しました。
 バスは行き千曲バス2台、帰り神奈中バスのトイレ付3台で車中ではDVDで楽しみました。
3. 宿は、山田電器陸上部と豊田自動紡織長距離部と同宿でしたが、女性はシダハウスを利用し、新館に子供6班と6年コーチ、旧館に子供1班と3～5年コーチ、道路反対側のパコに低学年コーチで対応しました。また2年生3人も各班に入れたため、中々寝つけず6年生が寝不足となりました。
4. 天気は、早い梅雨明けのおかげで2日目一時小雨程度で曇り3・4日目は青空も見える天候で小学校裏の山光館第2グラウンドで行い、今シーズン初めての柔らかな芝生を全面利用できました。
5. 花火は、グリーンプラザでのバーベキューの後に、小山田・亀田・飯島・菅田・大坪コーチがグラウンドにて準備し、昨年より予算を増やしたお蔭で迫力もあり、子供たちも喜んでいただきました。
6. 夜のコーチミーティングは大広間を利用して開催され、原則22時までと言うことで23時には終了し、その後は各部屋での2次会でしたが、最後の夜はママたちも全員参加していただきました。
 総務部は熊谷部長以下、宮内・山中・芝田・金・宮澤・菅田コーチが担当していただき、初日から冷えたビールが飲み、その後も缶ビール・チューハイと焼酎に矢部シェフお手製のおつまみや缶詰なども増えて美味しいつまみが提供されました。
 会費は昨年同様ですが、お酒やつまみの事前購入と最終日の残り物販売などで上手く収まりました。
 また、各学年父母からのビールなどの差し入れを頂き、ありがとうございました。
7. 試合は14日にミニジャンボリーに参加し各学年最低2試合行いました。16戦8勝6敗2分
8. コーチの試合は、15日月曜日の朝食中に12分ハーフで行い、校長率いる柿色チームと小坂副校長の白色チームにて行い、開始早々白色がラックから米元が萩原へと右に繋ぎ小坂が先制トライ。すると4分に今度は柿色のSO濱田(和)が混戦から抜き出て右ライン際を独走し同点に持ち込んだ。
 その後白色の攻撃を柿色がしのぎ引き分けでした。
9. けが人は、体調不良で数人が救急対応の部屋にお世話になりましたが、ケガ人もなく、心配されていたコーチの怪我也打撲や肉離れ程度でした。また初日の寝不足で体調不良の子供も少なかった。
10. 宿での水分補給として麦茶をジャグジーにてサービスしました。
 また食事中は各班にコーチが1人入って、子供たちの食事状況を把握するようにしました。
 今年は新しく靴置場ができたため、着替え置場と分けて利用しました。
 昨年の反省から班長と副班長の指名及び班割り事前の6/30に子供たちに周知させ、班長には班長としてやることをまとめたマニュアルを配布しました。宿舎でのルールなどをまとめた「夏合宿のしおり」の配布効果もなく多くの忘れ物がありましたが、集合時間など良くできました。
 最後に夏合宿反省会兼打ち上げは8月18日に20人が参加して多満にて実施しましたが、反省項目は①

往は2台トイレなしバスでしたが問題なく、予算削減できた。

②時間管理のためには、各班に目覚まし時計が必要。班担当コーチの専任について検討。

③グリーンプラザでのBBQは山光館より好評。

④早朝の見回りの実施にて早くから起きて廊下を走るなどの子供はいなかった。

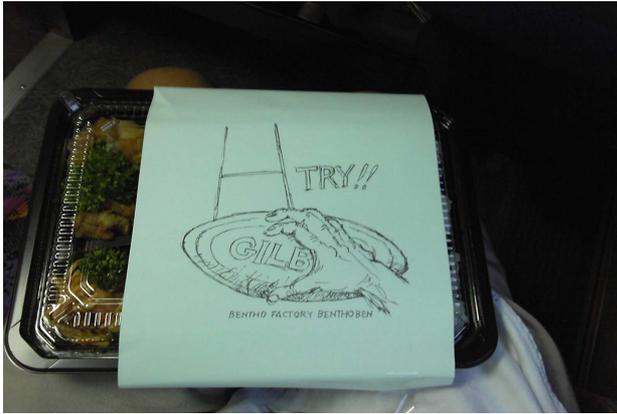
⑤練習時の水分補給はスクイーズボトルの活用が有効、低学年への対応。

以上

2013年夏合宿の1コマ写真

幹事長 加賀

左：行きのお弁当は卒業生猪腰草太君勤務先の弁当屋、お手製のカバーがうれしい。右：お弁当の中身



左：昼食後のコーヒー（大人用）を上手そうに飲んでいる4年生 右：宿泊室廊下の給水スポット



左：昨夜の花火の残骸 右：小学校の校庭に落ちていた花火のゴミ



左：きれいに揃えられた下足棚（初日だけです） 右：まだお風呂セットが置かれていない状況





2013 夏合宿

麻生ラグビースクール



























編集後記

今年は、個人的なことですが、4年に一度開催される合気道国際大会の日程とバッティングしてしまい、しかもその演武競技2種目にエントリーしていたため、残念ながら参加できませんでした。しかし、皆さんの書かかれた熱い文章を読むと、合宿に参加しなかったことが本当に悔やまれます。

各学年がそれぞれ充実した合宿を終えたようすが良く伝わってきます。今回の合宿からは、キムコーチの写真がたくさん載るようになって、より充実した内容になりました。加賀幹事長も写真を載せてくれています。次回の合宿では各学年に一人以上の写真担当を配置し、キムコーチや加賀コーチの負担を少し減らしてあげましょう。

もうすぐ県大会です。夏合宿の成果を思いっきりぶつけましょう。そして、感想文も書いておいてくださいね。後ほど正式に依頼しますので。

編集長 毛利

今年の合宿も子供たちは真剣にラグビーに取り組み、応援のために多くのご家族の方が菅平まで足を運んでくださいました。

子供たちは合宿の感想を綴ってくれました。たくさんの感動を貰ったご家族の感想が今年は少なかったのですが、文字にしたものを読み返すと色褪せた感動が蘇ります。来年はご家族の方も子供たちに負けないぐらいの寄稿をお願いします！！

副編集長 野田

今回僕は夏合宿に参加できませんでした。側で5年生の成長を感じることができませんでした。リトルラガーマンの文をみているとみんな成長がみてとれます。

県大会に向けてコーチ、保護者、子ども達一丸となって頑張りたいと思います。

猪腰咲太

3年生にとって、初めての夏合宿。多くの子供が涙を流しながら頑張りました。その子供たちがどのような感想を送ってくるのか不安と期待が入り混じっていました。

が・・・心配はありませんでした。苦しい中にも、楽しみを見つけ出してくれていました。子供たちの底知れぬポテンシャルって凄いと改めて感じました。

津国